

岩国短期大学GPA制の活用について

1. GPA (グレード・ポイント・アベレージ Grade Point Average) 制度について

成績評価については、各授業科目の成績を秀 (S) ~ 不可 (F) の 5 段階で評価すると共に、GPA という成績評価値によって表示する。GPA は各科目の成績を点数化することによって、個人の成績レベルが一目でわかるようにしたものである。

GPA の算出は、まず各科目の秀 (S) ~ 不可 (F) の評価に、それぞれ秀 = 4、優 = 3、良 = 2、可 = 1、不可 = 0 を割り当てる。次に、それぞれ割り当てられた点数に各科目の単位数を掛けてその総和を求め、全体を総単位数で割って算出する。GPA は学期ごとに算出され、成績通知書に記載される。

● GPA の算出方法

例) 履修した 5 科目が、1 科目ずつ S ~ F に評価された場合

| 評価 (点数) | S (4) | A (3) | B (2) | C (1) | F (0) | 総単位数 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 単位数 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 7 |

$$\text{GPA} = \frac{4 \times 1 + 3 \times 2 + 2 \times 1 + 1 \times 2 + 0 \times 1}{7} = 2.00$$

2. 本学での GPA の活用について

GPA は学内規準、卒業判定等の際の活用など、学生に対する日々の学習支援のほか、本学の教育質的向上に関わる局面において活用するものとする。

(1) 学生個人及び全体の学習の進捗状況の把握と学習指導への活用

- ①各学期の学生の GPA 一覧表をもとに個々の学生の学習の進捗状況を把握し、学習指導に役立てる。
- ②学生は、各学期の学習成果個人 Check カードに GPA 値を記載する。それにより、自らの成績状況及び学習成果を把握しやすくなる。
- ③学年別、学期ごとに全体の GPA 分布図を作成し、全体の学習指導に活用する。
- ④高等教育修学支援制度の認定要件として活用する。

(2) 就職活動における学内推薦基準の一つとして活用

学内推薦者については、学内推薦基準を総合的に検討して選考する。